

平成 30 年度事業報告書（平成 30 年 5 月 1 日～平成 31 年 4 月 30 日）

（敬称略）

《事業の概要》

写真を通じて日本文化の進展に寄与することを目的に、平成 30 年度は次の事業を行った。

《中長期戦略企画室》

1. 日本写真会館将来構想実現のためのスケジュール化の推進
 - ① 持田製薬(株)(隣地)へ売却：適切な移転先が無く、持田製薬への売却断念
 - ② 日本写真会館建替え(平成 28 年度に提案了承済)：四谷再開発後に再検討(建替・売却移転・共同建設)
 - ③ 現日本写真会館の継続維持対策：日常メンテナンス、大規模修繕、耐震工事の調査検討
2. 写館協との運営の一本化について
 - ① 写館協との運営の一本化の検討(経費・事業の効率化と人的パワーの集結・強化を目的)・・・中断再検討

《総務部》

1. 合同新年の集い(文協担当)：平成 31 年 1 月 30 日(水) アルカディア市ヶ谷(東京)にて 150 名出席で開催
2. 平成 29 年度功労者表彰/平成 30 年度功労者の決定
 - ① 平成 30 年 6 月 26 日(火)第 72 回定時会員総会にて平成 29 年度功労者 8 名、叙勲受章者 1 名を表彰
 - ② 平成 30 年度功労賞表彰候補者 6 名選出、第 2 回理事会で承認、第 73 回定時会員総会にて表彰
3. 成人年齢引下げに伴う成人式式典年齢対応：二十歳(はたち)の成人式式典の価値を提案・推進
 - ① 関係府省庁連絡会 第 2 回分科会(11/26)、自民党 内閣第一部会(3/13)に出席、二十歳の式典を要望
4. 平成 30 年 7 月 6～8 日の西日本豪雨被災写真館支援のため「西日本豪雨写真館支援委員会」を設立
募金活動により義援金総額 157 万円を会員被災写真館に贈呈
5. 関係団体との情報交換と関係強化
 - ① JPS・APA との合同会議の開催(6/4JPS・10/22APA・3/4 文協)
 - ② 日本写真著作権協会との連携強化による文協会員の著作権意識の浸透
・JPS ニュースの全会員への配布 ・月例会議への出席
6. 技能検定対策室(文協事務局)の設置とその活性化、会員の受検促進活動の展開
7. 職員就業規則改定：改正労働契約法対応のため改定(平成 31 年 3 月 1 日より施行)
8. 日本写真会館テナント管理の徹底

《財務部》

1. 平成 29 年度の公益目的支出計画実施報告書、正味財産増減計画書等の内閣府へ 7 月末提出・受理
2. 財務月度管理の徹底：徳田経理顧問・三ツ澤財務部長・事務局と毎月実施
3. 平成 31 年度予算の策定：予算案の策定、第 2 回理事会(1/30)にて議決承認

《事業部》

1. スクールフォトビジネスの構築
 - ① 第 65 回全国展フォトコンテスト「学生の部」拡充のための企画立案と市場浸透策の推進
 - ② 小中学校への写真教室の実施

主催	日程	参加人数	内容	会場
石川県営業写真協会	7 月 23 日(月)	34 組 67 名親子	ピンホール	ひととものづくり科学館
山形県営業写真家(協)	7 月 28 日(土)	32 組 64 名親子	ピンホール	酒田総合文化センター

- ③ 高校写真部向け撮影セミナーの実施
 - ・平成 30 年 8 月 1 日(水)北陸ブロック富山大会と併設実施・・・170 名参加
 - ・平成 31 年 1 月 5 日(土)協兵庫県写真師会にて実施・・・約 40 名参加、5 グループに分れ、組写真作成
2. フォトカルチャービジネスの構築・・・全国展入賞作品のアーカイブ化の開始
 - ① 目的：写真愛好家と行政に対し、文協と全国展の認知度アップを目指す
 - ② 内容：全国展入賞作品(第 54～63 回 1,2 部のみ分類(地区・被写体別)推進中

《文化部》

1. 第 67 回「写真の日」記念講演(第 64 回全国展フォトコンテスト表彰式後に開催)
 - ① 平成 30 年 5 月 28 日(月) 写真家 中村征夫氏を講師に、東京上野・東京都美術館講堂にて参加約 100 名
 - ② タイトル：「テーマで写真表現が大きく変わる」・・・講師作品を映写・解説
2. 全国展フォトコンテスト(全国写真展覧会)の実施
 - ① 第 64 回(表彰式・入賞入選作品展)
 - ・応募数：2,908 点(対前回比 111.3%)、応募人数：1,407 名(対前回比 116.9%)
 - ・審査員：中村征夫、前川貴行、小松ひとみ、山崎裕二、堀恵介、奥田昇、田中秀幸、梶山保孝

- ・入賞入選：入賞 26 点・入選 72 点・優秀賞 14 点、合計 112 点
- ・表彰式：平成 30 年 5 月 28 日(月) 東京都美術館講堂(東京・上野)
- ・入賞入選作品展、会場・会期・入場者数

会場	会期	入場者数(前回比)
東京都美術館(東京・上野)	平成 30 年 5 月 28 日(月)～6 月 3 日(日)	2,916(92.2%)
富士フィルムフォトサロン札幌	平成 30 年 9 月 21 日(金)～26 日(水)	622(108.0%)
富士フィルムフォトサロン大阪	平成 30 年 10 月 5 日(金)～11 日(木)	2,770(94.0%)
富士フィルムフォトサロン福岡	平成 30 年 10 月 19 日(金)～24 日(水)	514(91.8%)
ポートレートギャラリー	平成 30 年 12 月 20 日(木)～26 日(水)	168(122.9%)
入場者合計		6,990(94.6%)

② 第 65 回(募集・審査)

- ・募集期間：平成 30 年 12 月 5 日(水)～平成 31 年 2 月 8 日(金)
- ・応募料：組写真…2,000 円/組、単写真…1,000 円/点、学生の部…無料
- ・応募数：3,099 点(対前回比 106.6%)、応募人数：1,600 名(対前回比 113.7%)
- ・審査員：中村征夫、清水哲朗、米美知子、山崎裕二、堀恵介、奥田昇、田中秀幸、石毛良二
- ・入賞入選：入賞 26・入選 73 点・優秀賞 15 点 計 114 点

賞	氏名	都道府県名	部門	タイトル
内閣総理大臣賞	成瀬 夢	大阪府	学生の部	幻影
文部科学大臣賞	橘 さち子	茨城県	第 1 部	伝統のかたち
文部科学大臣賞	赤井 大司	和歌山県	第 3 部	幸せの笑顔
日本写真文化協会賞	渡邊 邦光	神奈川県	第 2 部	疾走
下岡蓮杖賞	岩城 文	東京都	第 3 部	お茶を嗜む花嫁
奥田昇きもの写真大賞	萬谷 純	東京都	第 3 部	笑顔の先に

3. 写真の普及並びに写真文化・芸術に関する調査(一般や高校生に対して写真普及事業の展開)

① 山梨県高等学校写真連盟冬季審査会

金賞：山梨県立日川高等学校 志村夢佳、銀賞：山梨県立甲府工業高等学校 河野晴音
銅賞：駿台甲府高等学校 小林暉、銅賞：日本大学明誠高等学校 青野美乃莉

② 日本写真映像専門学校卒業制作優秀作品の表彰

文協会長賞：写真コミュニケーション学科・写真表現コース 松田彩音「苦悩」
写真コミュニケーション学科・営業写真コース 奥原花鈴「おにいちゃんと一緒」
フォトファイン学科 山本 泉「ちかちゃん」
日本写真文化協会奨励賞：写真コミュニケーション学科 金島 咲「Thread jewelry」

③ 第 2 回西日本高校写真部選抜展に協賛(出展校 19 校)

日時：平成 31 年 3 月 1 日(金)～7 日(木) 10:00～18:00(最終日は 15:00 まで)
会場：オリンパスギャラリー大阪 主催：西日本高校写真部選抜展実行委員会

4. ポートレートギャラリーの維持運営

① 維持対策の実施：カーペットの部分張り替え

② ポートレートギャラリー展示作品申込み・実施状況(但し平成 30 年 1 月～12 月)

展示申込み数 70 件 実施数 49 件 落選 21 件 (倍率 1.4 倍)

③ 写真展開催実績：企画展 3 展、公募展 44 展 計 47 展(平成 30 年度)

〈企画展〉・第 64 回全国写真展覧会「全国展フォトコンテスト入賞・入選作品展」

- ・写真展：12 月 20 日(木)～26 日(水)
- ・新春企画展 米美知子写真展「詩的憧憬」
- ・オープニングパーティー：1 月 7 日(月) 来場者約 200 名
- ・写真展：1 月 8 日(火)～23 日(水) 集客総数約 3,000 名
- ・江成常夫「After The TSUNAMI 東日本大震災」
- ・写真展：2 月 28 日(木)～3 月 6 日(水)
- ・ギャラリートーク：3 月 2 日(土) 参加者約 100 名

〈公募展〉・概要(計 44 展)

- ・会員非会員：会員 3(6.8%)、非会員 41(93.2%)
- ・主催：一般グループ展 30(68.2%)、一般個展 8(18.2%)、コンテスト発表展 4(9.1%)、大学 2(4.5%)
- ・内容：混在 17(38.6%)、風景 13(29.5%)、ネイチャー 6(13.6%)、人物 3(6.8%)、山岳 2(4.6%)
祭 2(4.6%)、鉄道 1(2.3%)

5. 全国 10 ブロックへの講師派遣の推進

- ・各ブロック主催の講習会・研修会等の講師にかかわる補助を実施

6. 写真の祖 下岡蓮杖翁の顕彰

① 慰霊祭：平成 30 年 6 月 12 日(火)下田公園蓮杖台(静岡・下田市)に参列(主催：下岡蓮杖を顕彰する会)

② 墓参会：平成 31 年 3 月 3 日(日)染井霊園(東京・巣鴨) 参加 25 名

7. 作画研究グループ展の企画会議の開催(平成 30 年 12 月 6 日)の検討

① 目的：各グループの個人・団体の更なる向上を目指しポートレートギャラリーの当会員活用を促進する

② 期 間 : 令和 2 年 1 月 23 日(木)~29 日(水)予定

8. 国際交流の推進

① WPC の認知度向上策と WPC2019 への参画

- ・ WPC2018 入賞作品展の開催 : フォトネクスト(6/5・6)・ポートトギャラリー(6/14~20)・各ブロック大会
- ・ WPC2019 国内応募総数 : 約 300 点
- ・ WPC2019 受賞式 : 平成 31 年 4 月 8~10 日 ノルウェー ドランメンにて(岡本昇・有賀一彦・竹中岩人
松尾圭一郎)4 名参加、受賞者 松尾圭一郎 ウエディング部門 7 位入賞
- ・ WPC ユニホームの作製 : 拡販による認知度拡大策の展開

② アジアプロフォト連合 8 月 16~19 インド ニューデリー 大会 今回は不参加

《広報部》

1. 文協の知名度・ステイタス向上のための活動推進…情報発信と受信窓口としての活動の展開
2. 機関誌「写真文化」の発行と更なる充実と全国会員からの情報収集の確立推進

① 6 月・8 月・10 月(ブロックコンテスト特集)・12 月・新春・4 月号の発行

② ブロック・都道府県広報担当との情報交換体制の確立推進

③ 平成 31 年新年名刺広告募集実施

・ 実績 : 写真館 33 館、団体 55 団体、ラボ・メーカー・商社 12 社 計 100 社

3. 写館協編集部との情報交換 : 10 月・新年・4 月号「ザ・写真館」同梱再開のための情報交換

4. 図録・記念誌の編集発行

① 「写真文化」特集号「第 64 回全国展フォトコンテスト入賞入選作品集」の発行 (平成 30 年 5 月発行)

② 「文協 70 周年記念誌」企画編集 : 令和元年 6 月発行予定

5. IT 関係

① 第 55 回夏期大 PR と募集拡大を目的に Facebook での実施状況を即時配信 : 期間中のアクセス 623 件

② ホームページの刷新 : 平成 30 年 9 月 1 日より

・ 「会員専用投稿版」の開設 : 売ります/買います! セミナー/写真展の案内など自由に投稿

③ IT 委員会定例会議(毎月)実施による更なる充実化の推進

④ SNS の積極的活用による文協 PR 活動の推進

《教育訓練部》

1. 第 55 回夏期写真大学講座の実施

① 開催期間 : 平成 30 年 8 月 6 日(月)~9 日(木) 搬入日 8 月 4 日(土)

② 会 場 : 東京工芸大学(中野キャンパス)

③ 受講者数 : A コース(基礎) 13 名、B コース(撮影) 9 名、C コース(応用) 5 名
専門コース(和装婚礼振付) 7 名、専門コース(七五三・成人式着付) 6 名 合計 40 名

2. 第 56 回夏期写真大学講座の企画

① 開催期間 : 令和元年 8 月 27 日(火)~30 日(金)

② 会 場 : 東京工芸大学(中野キャンパス)

③ 受講者数 : A コース(基礎) 12 名、B コース(撮影) 20 名、C コース(応用) 15 名
専門コース(和装婚礼振付) 16 名、専門コース(七五三・成人式着付) 5 名、募集定員計 68 名

④ 申込受付 : 令和元年 5 月 7 日(火)~8 月 13 日(火)